



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

第2回

2024年度 前期 リカレント研修会

「人生百年時代に備える歯科衛生士力」

LIVE配信：2024年6月14日(金) 19：30～21：00

オンデマンド配信（録画視聴）：2024年6月21日(金)～2024年6月30日(日)



一般社団法人

大分県歯科衛生士会

歯科衛生士 有松ひとみ 先生

講演内容

- ・ 世界で類をみない超高齢社会にある我が国での地域包括ケアを理解する
- ・ 老年歯科分野を中心に“予防”を専門とする歯科衛生士の役割を共有する
- ・ ベトナムで展開中の介護予防推進事業を通じて職種の未来像について言及する

講演の要約

人生百年時代を迎え、超高齢社会只中の日本において、“地域包括ケア”は推進すべき施策であることは間違いのないようです。厚生労働省のホームページでは「2025年を目処に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制」と記載されています。10年前は殆ど認知されていなかったこのキーワード、現在の情報ネットワーク等で目にしない日はありません。

この概念が歯科領域にどのように機能していくのかは未知ではありますが、歯と口腔が全身の健康に及ぼす影響が明確になった今、“予防”を専門とする歯科衛生士への期待は大きいと感じています。この表れの一つとして、「運動」「栄養」「口腔」を三位一体で行っている日本式介護予防推進事業は、海外にも波及しています。

口から美味しく楽しく食べることを支えるスペシャリストとして、更に、地域で暮らす高齢者の人生を豊かにするジェネラリストとしての役割を共有できればと考えております。